



社会問題部門
南枝尚美
(なんし なおみ)

新聞の間で生きられた人である」と表現されました。「私」と繋がっていない事柄は、何も無い。ともに考え、願いに生きて行きましょう。

社会問題と
信心。安田理
深先生は、曾
我量深先生の
ことを「赤表紙
(真宗聖典)と

社会問題部門(10名)
写真右から
三須 誠(備後組・寶田院)
南枝 尚美(第2組・龍寶寺)
赤松 弘之(第3組・西樂寺)
中杉 隆法(神戸組・西林寺)
寺川 正道(安芸南組・萬休寺)
岸 佑介(第4組・光専寺)
道隆(備中組・真光寺)
湯朝 良尚(第3組・長圓寺)
義一(第2組・光宗寺門徒)
保田 至(第1組・了源寺)
松浦



社会問題部門

「聞十方」は

「聞十方」では、みなさんご存知のように、正信堂に出る「重誓名聞十方」であります。

「法蔵菩薩が重誓した内容は、南無阿弥陀仏が至るの人の届くように」という意味です。

今回、「のタイトルにさせていただいたのは、教化委員会がみなさんに届きますように、という意味合いであります。もう一つ、逆に、みなさんの声を聞くことができようように、という双方向の意味合いであります。

お互いの顔が見え、声の届く組織、心の通う組織、それがわたしたちの真宗大谷派山陽教区である。

「わかりやすい情報発信」として発刊させていただきましたことになりました。今後ともよろしく願っています。

合掌



広報・情報発信部門
武田典久
(たけだのりひさ)

広報部と言え、前任の藤本浩之氏(第四組誓福寺住職)が長年に渡り、ホームページをはじめ、教区の情報発信に力を注いでくださった部門です。

器用な彼の後を引き継ぐのは難しいですが、今回は部員5名と共に、東になって、前任者の築いてくださった土台を崩さぬよう、きちんと受け継ぎたいと思います。

「わかりやすい情報発信」を心がけていく所存であります。みなさま、よろしく願っています。

広報・情報発信部門(5名)
写真右から
松岡 彰(第2組・法性寺)
武田 典久(第7組・真行寺)
湯朝 岳史(第3組・長圓寺)
南 正純(芸備組・浄見寺)
泉原奈都子(安芸南組・法正寺)



広報・情報発信部門

広報・情報発信部門からの
お知らせとお願い

教区ホームページをごらんください。
<http://sanyo-kyoku.jp/wp/>

Facebook @sanyokyoku
Twitter @sanyokyoku_koho

- 各種関係書類がダウンロードできるようになりました。
- ホームページ上で各種団体等、催しもの等掲載できるようになりました。所定の用紙に記入の上、FAX or E-mailでお知らせ下さい。
- ご意見、ご感想、ご要望等、お聞かせ下さい。

Fax 079-292-1747 (山陽教務所)
E-mail sanyo@higashihonganji.or.jp

聞十方

真宗大谷派山陽教区教化委員会
広報・情報発信部門広報誌
もんじっぽう

真宗大谷派山陽教区教化委員会
広報・情報発信部門広報誌
もんじっぽう

第1号(創刊号)

発行日 2017年10月1日
発行者 山陽教区教化委員長
木曾 修
発行所 〒670-0044
姫路市地内町1番地
Tel 079-292-3690
Fax 079-292-1747
教区ホームページ
<http://sanyo-kyoku.jp/wp/>
E-mail sanyo@higashihonganji.or.jp

「新体制の発足について」教区教化委員長 木曾 修



山陽教区教化委員長
木曾 修 (きそ おさむ)

二〇一七年七月一日、山陽教区同朋会館にて、新体制となった教化委員会総会を開催しました。

体制も人も新しくなり、私も新たな気持ちで自然とワクワクしてまいります。教区人である教化委員さんも、これらの教区教化をどうしていくのかを、真剣さのなかにも楽しみを見つけつつ形にしてくださればと願っています。

企画される人の願いに楽しさや喜びのこもった教化事業は、自然と伝わっていくと思えます。

「教化推進本部」本部長 藤井 晃



教化推進本部
藤井晃
(ふじい あきら)

新しい教化委員会のコンセプト

- 1、人材の育成
「聞き」「考え」「話す」力の養成
- 2、社会問題を考える
現実の社会の問題を教えに問うていくことで自ら「動く」
- 3、青年教化
教化方法の模索と実行

一年目は、各部会において十分活発な議論を尽くし、教化施策を考える。二年目から実行と反省を行う。

何とぞ、各部門の教化委員会委員並びに教区内全寺院、全門徒のみなさまのご協力をお願いいたします。

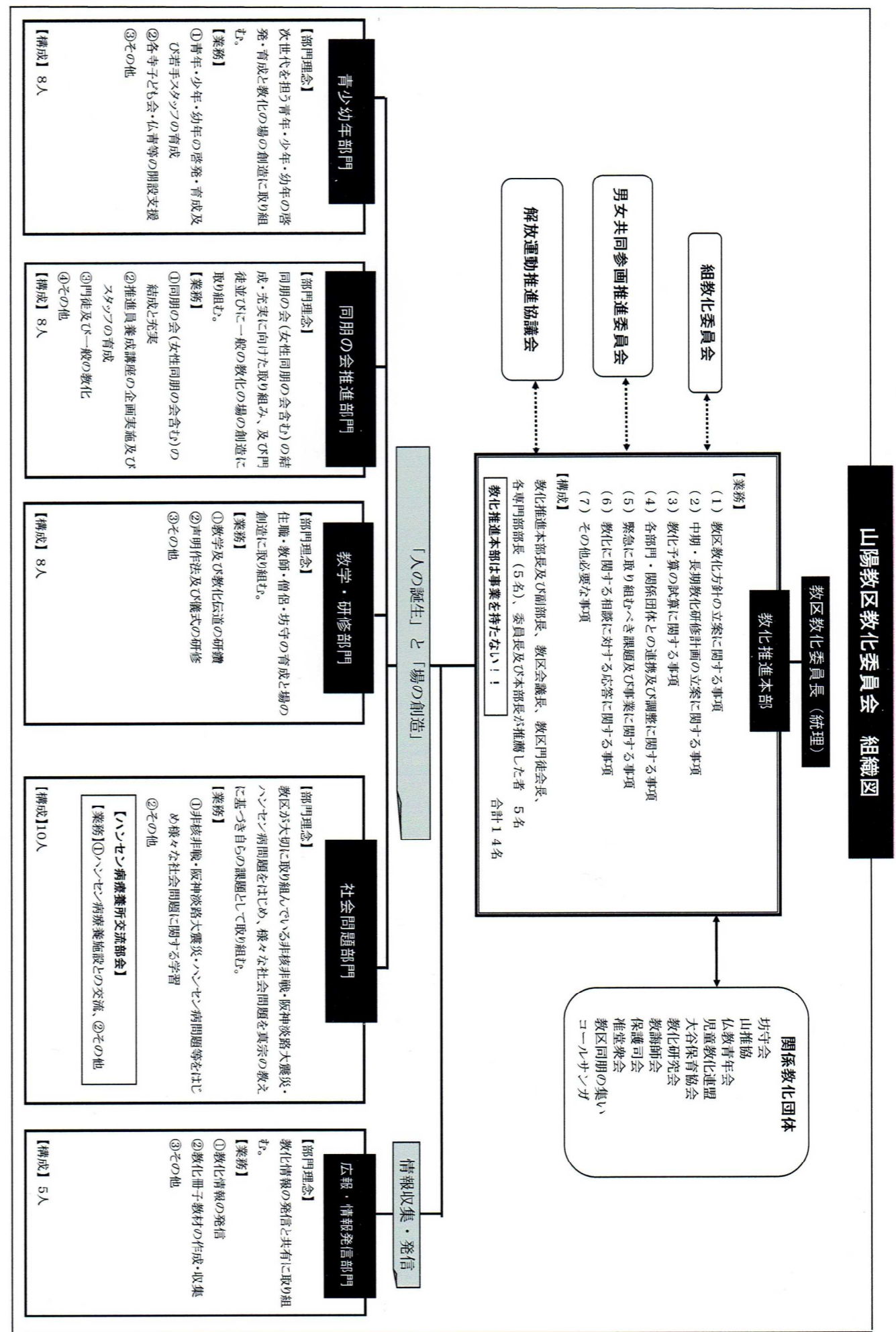
教化推進本部 写真右から

- 後藤 由美子 (第7組・光圓寺)
- 藤本 浩之 (第4組・誓福寺)
- 安藤 俊明 (第6組・常徳寺門徒)
- 泉原 寛康 (安芸南組・法正寺)
- 木下 美智子 (神戸組・正蓮寺門徒)
- 栗栖 寂人 (第2組・正行寺)
- 藤井 晃 (美作組・本琳寺)
- 後藤 明照 (第7組・光圓寺)
- 木村 慎 (第4組・興宗寺)
- 武田 典久 (第7組・真行寺)
- 松江 長親 (備後組・明圓寺)
- 南枝 尚美 (第2組・龍寶寺)
- 正親 久美子 (第1組・西樂寺)
- 邨上 了圓 (第5組・真宗寺)



教化推進本部

<新教化体制>



青少年部門(8名)
写真右から
本谷 瞳(第1組・佛心寺)・廣瀬 恵美(第6組・東光寺)
内藤 和裕(赤穂組・明顯寺)・安藤 智宣(安芸南組・浄福寺)
木村 慎(第4組・興宗寺)・天川 岳洋(第5組・福乗寺)
藤谷 真(第3組・西教寺)・北風 智史(第4組・願成寺)



青少年部門

「青少年部門」部長 木村 慎
ら、参加者もスタッフも同じ「ほとけの子」として出遇っていきけるような事業を企画、実施していきたいと思っています。よろしくお願ひします。

青少年部門 木村 慎 (きむら しん)

青少年部門では、関わり合いのなかで教化の場が広がることを願ひなが



同朋の会推進部門(8名)
写真右から
後藤 明照(第7組・光圓寺)・岸本 晶三(第5組・正蓮寺門徒)
西堀 秀行(神戸組・教泉寺)・廣住 美津子(備後組・最善寺)
池田 賢司(赤穂組・願船寺)・日野 雅範(第4組・善覺寺)
房常 晶(美作組・本教寺)・松本 一之(第4組・勝瑞寺門徒)



同朋の会推進部門

「同朋の会推進部門」部長 後藤 明照
れました。「人類にひらかれた同朋社会の顕現(宗憲趣意)に向け、推進員養成講座を中心に据えた取り組みを、教区内皆さまと共に創造していくことを事業にします。

同朋の会推進部門 後藤 明照 (ごとう みょうしょう)

この部門は、同朋の会の結成・充実に向け取り組み事を理念として新設



教学・研修部門(8名)
写真右から
安本 浩樹(安芸北組・専光寺)・松江 長親(備後組・明圓寺)
後藤 功(赤穂組・西教寺)・長谷岡 英信(第3組・浄圓寺)
山科 立人(第4組・西蓮寺)・水野 真成(備後組・妙蓮寺)
惣持留理(安芸南組・極楽寺)・玉光真人(第7組・光明寺)



教学・研修部門

「教学・研修部門」部長 松江 長親
先ずは、「話す」ことも必要ですが、「聞く」ことを学びます。今ここに形となつてまで伝わった事をしっかりと受け止め、聞くことを大切に、地に足のついた研修を行います。

教学・研修部門 松江 長親 (まつえ ながちか)

この部門では、住職・教師・僧侶・坊守を対象とした研修を行います。

